



市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぽいっぽ”取り組みを進めています。

問合せ／人権・市民相談課 ☎273

男女共同参画キーワード

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

女性が生涯を通じて、心も体も健康な状態を目指すことをリプロダクティブ・ヘルスといい、これを得る権利をリプロダクティブ・ライツといいます。

女性は妊娠・出産など、生涯を通じて男性とは異なるさまざまな体の変化や健康上の問題に直面することが多くあります。そのため1994年、国際人口・開発会議で、女性の生涯にわたる健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）が提唱され、女性の重要な人権の一つとして位置づけられました。

その中心課題には、いつ、何人子どもを産むか、あるいは産まないかを自己決定する権利、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれています。それでは、世界の現状からこのことについて考えてみましょう。

このデータから、性についての正しい知識不足、避妊薬（具）や病院の不足などにより、世界の多くの女性の健康と権利がおびやかされていることが分かります。日本においても、性情報ははらんや性に対する意識の変化などにより、性体験の低年齢化、十代の望まない妊娠と中絶といった問題があります。

そのため、性についての正しい知識を得ると共に、男性主導になりがちな避妊や性行動において、女性がきちんと意思表示ができ、その意思が尊重されるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの考えがとても重要です。

男女が対等な立場で話し合い、「産む・産まない」の決定をすること—それがひいては、望まない妊娠や性感染症を防ぐことにつながります。

世界では 1 分間に約380人の女性が妊娠

そのうち

約160人が妊娠を望まずに妊娠

妊娠を避けたいと思っても、安全で効果的な避妊薬（具）を手にする事が出来ないケースがあります。もし避妊を確実に実行できれば、妊娠や出産を原因とする死亡を3分の1減らせると言われています。

約40人が危険な人工妊娠中絶を受けています

「危険な」というのは、特に開発途上国で、中絶に対して非合法的な国が多いため、とても危険な方法で中絶が行われているケースがあります。

約26人が10代の少女です

南アジアやアフリカなどの開発途上国に多い傾向があります。10代前半の妊娠は、心も体も未成熟なことが多く、母体にも胎児にも多くの危険を及ぼしかねません。また、4人の若者が HIV に感染しています。

約1人が亡くなっています

病院などの医療設備の未整備、重労働、栄養状態の悪さ、早婚、多産などから出産で命を落とす女性もいます。

出典：国連人口基金（2003）、国連児童基金（2004）

～積極的に育児を楽しむカッコいい男性～ 今月の“イクメン”パパ



はしもと やすひこ
橋元 廉彦さん親子

我が家のフーテンの寅娘です。噛みつき、いびき、入浴、オムツ替えにも慣れましたが…♪奮闘～努力の甲斐もなく、今日も～涙の～今日も～涙の日は落ちる、日が～落ちる～♪という訳で、子育て楽しんでます！

このコーナーへの掲載を希望される方は、人権・市民相談課にご連絡ください。

男女共同参画のページができました

市ホームページの市政まちづくりから男女共同参画のページをご覧ください。